

# 第70回日本文学協会国語教育部会 夏期研究集会のご案内

日本文学協会国語教育部会

かけがえのない子どもたちひとりひとりの〈いのち〉を育てる国語教室を、どのように創っていったらよいのでしょうか。

今年のテーマは「第三項がひらく文学教育—読むことの〈価値〉の創造」です。読むことの基盤となるのは、対象を捉えるとはどういうことなのかという言語観です。1980年代の言語論的転回によって、これまでの主体と客体の二項で捉え、正しさを追求する読みは転換を迫られました。それから三十数年経ちましたが、依然として正解があるとされたり、正解がないとされたりというような微温的価値相対主義が、問題とされない事態が続いているのではないのでしょうか。この矛盾し、混迷する状況の中で、私たちは国語教育研究と文学研究との相互乗り入れによって、自らの読みを更新し続け、深い学びを追究する実践を積み重ねてきました。読むという行為は、生き方や倫理を問うこと、〈いのち〉を支える営みです。

第三項論は、言語論的転回が必然的にもたらす価値相対主義を乗り越え、読むことの〈価値〉を創造する原理として、文学教育をひらくものです。主体と客体の二項で対象を捉えるのではなく、主体と、主体が捉えた客体と客体そのもの、三項で捉える世界観認識です。主体によって捉えられた客体は、あくまで主体の捉えたものであり、客体の〈向こう〉に、だれにも到達できない客体そのものを想定します。それぞれが捉えた客体は、それぞれの主体に応じて現象した〈わたしのなかの他者〉です。客体そのもの、すなわち「了解不能の《他者》」はだれにも捉えられません。それぞれが捉えた客体は、客体そのものの〈影〉が、主体に現象させたものです。第三項論に立って、捉えられない「了解不能の《他者》」に向かって読みを追究していくことは、読みの実践、授業に求心力を生み出します。

次期学習指導要領が告示されました。高等学校学習指導要領においては国語科の目標として「他者との関わり」が提起され、「文学国語」の指導事項には「語り手」という言葉が登場しています。こうした動向は、小学校、中学校の学習指導要領にも潜在している事態です。「予測困難な時代」を切り拓くために、「資質・能力」の問題が提起されていますが、この問題を第三項論という原理に立って、抜本的に捉え直す必要があります。多くの方々の参加を願ってやみません。

テーマ 第三項がひらく文学教育—読むことの〈価値〉の創造

日時 2018年8月11日（土）～8月12日（日）

会場 法政大学第二中・高等学校

神奈川県川崎市中原区木月大町6-1

JR 南武線「武蔵小杉駅 西口」下車 徒歩12分

JR 横須賀線（総武快速線・湘南新宿ライン直通）武蔵小杉駅 横須賀線口 下車  
徒歩15分

東急東横線・東京メトロ副都心線・東急目黒線 等「武蔵小杉駅 南口」下車 徒歩10分

日程

**11日（土）**（全体会）

12：00～ 受付開始

13：00～ 開会挨拶 山下宏明（名古屋大学名誉教授）

13：20～ 基調報告 古守やす子（山梨県立塩山高校）

14：15～ 問題提起 須貝千里（山梨大学名誉教授）

15:20～ 実践提案

- 山中勇夫（宇都宮市立御幸小学校） あまんきみこ『白いぼうし』一教室で立ち上がる〈世界〉の重層性—  
 坂本まゆみ（北杜市立長坂中学校）〈語り〉の領域を読む—『少年の日の思い出』授業実践—  
 山下航正（広島商船高等専門学校）〈世界像の転換〉を導く文学の授業—夏目漱石『夢十夜』『第六夜』を対象として—

17:00～ 事務局連絡

**12日(日)**

午前の部 9:00～12:00 1日目の実践提案の振り返りと補足を受けての討議（分科会）

小学校分科会 司会 成田信子（國學院大學）  
 実践提案 庄司たづ子（紀北町立西小学校）「ごんぎつね」～村人が語り伝える「ごん」の話

中学校分科会 司会 山本富美子（北杜市立明野中学校）

高校分科会 司会 丸山義昭（新潟県立長岡高等学校）

午後の部（全体会）

13:00～ 午前の各分科会の報告および討議

司会 難波博孝（広島大学）

報告 成田信子・山本富美子・丸山義昭

14:30～ まとめ 田中 実（都留文科大学名誉教授）

14:50～16:20 講演 講師 山田有策（東京学芸大学名誉教授）

16:30～ 閉会挨拶 横山信幸（愛知教育大学名誉教授）

参加費 全日参加 4000円（ただし、学生は2000円） 一日参加 2000円（学生は1000円）

注意

- ・下記の申込書は、当日受付に出してください。
- ・参加費は、当日受付で払ってください。
- ・駐車場の用意はありません。お車での来場はご遠慮ください。
- ・宿泊は各自で申し込みをお願いします。混み合うこともございますので、早めに申し込みください。
- ・一日目は終了後に懇親会を予定しております。

お問い合わせ 日本文学協会

〒170-0005 豊島区南大塚2-17-10 TEL/FAX 03-3941-2740

e-mail : bungaku1946@piano.ocn.ne.jp

----- キ リ ト リ -----

第70回 日本文学協会国語教育部会 夏期研究集会申込書 2018年8月11日～12日

ふりがな氏名	
住所 電話 e-mail	〒
勤務校 (在 学 校)	
参加日(いずれかに○をつけてください)	両日参加 ・ 1日目に参加 ・ 2日目に参加
2日目午前 分科会の参加	小学校 ・ 中学校 ・ 高等学校 (いずれかに○をつけてください)